

平成 23 年度

「外部委員による事業評価」

平成 23 年 9 月 12 日・10 月 3 日実施

裾野市企画部企画政策課

目 次

1.	実施までの経緯	P 1
2.	方法	P 1
3.	体制	P 2
4.	対象事業	P 3
5.	評価方法	P 4
6.	実施日程	P 4
7.	事業評価調書	
	①高齢者福祉サービス	P 5
	②敬老会事業	P 8
	③すそのーる運行委託事業	P 9
	④財) 裾野市振興公社	P 1 0
	⑤裾野市赤十字病院補助事業	P 1 2
	⑥TMO運営補助事業	P 1 5
	⑦非常勤講師派遣事業	P 1 7
	⑧小中学校給食	P 1 8
	⑨社会福祉協議会補助金及び委託事業	P 2 0
	⑩シルバー人材センター運営費補助事業	P 2 3
8.	資料 (スケジュール・配置・グループ分け・チェック表)	P 2 4
9.	平成 23 年度実施「外部委員による事業評価対象事業」	P 2 9

1. 実施までの経緯

平成 23 年度より第 4 次裾野市総合計画、第 5 次裾野市行政改革大綱が策定され、更なる行政の簡素化・効率化に向けた取組みが始まっています。

一方、かねてよりの懸案でありました、リーマンショック以降の景気後退により、市税の大幅な減収が続き、裾野市も 29 年ぶりに交付団体となりました。

本年度予算におきましても、多額の財政調整基金を取り崩すなど、大変厳しい財政運営となっており、今のままの状態を継続すると、あと 5 年で財政調整基金が底をつき、市民生活に多大な影響を及ぼしかねません。

この厳しい財政状況を乗り切るためには、市民にとって何が必要とされているのか、無駄なものはないのかという市民目線に立って、市が実施している事業の内容を抜本的に見直すことが必要です。

近隣市町（沼津市、御殿場市、三島市など）では、民主党政権下で注目を浴びた事業仕分けが、構想日本などの有識者や市民の参加を得て行われています。

このような内外の情勢を勘案し、裾野市においても、さまざまな立場の市民の代表である外部委員による事業評価を実施し、事業の実施方針の決定と予算編成の一助としていただけるよう、裾野市行政改革推進委員会委員により実施することとしました。

なお、従来から実施されている行政評価は継続するとともに、今回の事業評価の対象外事業につきましても、従来の枠配分方式による予算配分を見直し、一定金額以上の事業について個別に事業内容を精査します。

2. 方法

評価対象とする事業は、所属長からの意見を参考にして作成した企画政策課の素案を基に市長が決定した 10 事業（19 事務事業）を対象とします。

事業担当部署から委員に事業目的・実施方法等を説明し、質疑応答を行います。

行政改革推進委員会委員 10 名が 2 班に分かれ、班ごとに事業に対する評価を行い、意見を取りまとめ、定められた区分により判定をします。

会議は非公開とします。（委員が評価対象事業に関係する団体に所属している場合もあり、また市民の立場でもあることから、評価前に関係者からアプローチされることなどがないように、事業名を伏せ、意見を出しやすい環境を整えます。）

事業評価の結果を受けた事業の実施方針については、結果を踏まえて市長が決定します。

<実施スケジュール>

	実 施 内 容
8月	事業評価の実施に関する周知及び説明 (行政改革推進委員会、庁議メンバー、評価対象事業担当課長) 事業評価シート(調書)記載依頼
9月	委員へ評価シート・論点質疑を事前配布 事業評価(第1回 9月12日)
10月	事業評価(第2回 10月3日) 評価結果の市長報告 10月24日

<事業評価シートの提出>

事業担当部署は、別添の事業評価シートに記入し、期日までに企画政策課に提出します。

事業評価シートは、行革推進委員会委員への事業概要説明資料となります。

3. 体制

裾野市行政改革推進委員会

任期 H25. 3. 31

N o	氏名	選出方法	班
1	菊田 祐一郎	区長会代表	A班
2	根本 年代	婦人会代表	A班(2日目B班)
3	勝又 規雄	商工会代表	B班
4	渡邊 康一	商工会代表	A班
5	植松 一成	青年層代表	B班
6	塩川 友孝	労福協代表	A班
7	西山 捷一	社協代表	B班
8	勝又 美代子	教育層代表	B班(2日目A班)
9	山口 郊治郎	学識経験者	A班(委員長)
10	渡邊 雄二	学識経験者	B班(副委員長)

①平成 23 年 8 月 31 日 平成 23 年度第 3 回会議

- ・委嘱状交付
- ・第 5 次行政改革大綱の説明
- ・財政状況の説明
- ・事業評価方法の説明

②平成 23 年 9 月 12 日 平成 23 年度第 4 回会議 事業評価 1 回目

③平成 23 年 10 月 3 日 平成 23 年度第 5 回会議 事業評価 2 回目

④平成 23 年 10 月 24 日 平成 23 年度第 6 回会議 取りまとめ・報告

4. 対象事業

事業選定基準

事業評価の対象事業は、500 万円以上の事業費で、一般財源を主たる財源とする

事業を企画政策課で抽出し、市長が決定した事業である。

No	事業名	具体的事業名	担当課	
1	高齢者福祉サービス	生きがい対応型デイサービス事業	社会福祉課	A 班
		在宅高齢者等食事サービス事業		
		老人日常生活用具給付・貸与事業		
2	敬老会事業	敬老会事業	社会福祉課	A 班
3	すその一 運行委託事業	すその一 運行委託事業	企画政策課	A 班
4	財) 裾野市振興公社事業	ヘルシーパークすその管理事業	健康推進課	B 班
		文化センター事業	生涯学習課	
5	裾野赤十字病院補助事業	救急医療への補助	健康推進課	B 班
		医療機器整備への補助		
		施設整備への補助		
6	TMO 運営補助事業	TMO 運営補助事業	商工観光課	B 班
		中心市街地活性化事業		
7	非常勤講師派遣事業	非常勤講師派遣事業	学校教育課	A 班
8	小中学校給食事業	小学校給食管理事業	教育総務課	A 班
		中学校給食管理事業		
9	社会福祉協議会補助金及び委託事業	社会福祉協議会補助金事業	社会福祉課	B 班
		ボランティア推進事業	地域振興課	
		ボランティアセンター運営事業		
10	シルバー人材センター運営費補助事業	シルバー人材センター運営費補助事業	社会福祉課	B 班

5. 評価方法

- ① 担当課は調書により説明（15 分間以内）
- ② 評価委員による質疑（25 分間以内）
- ③ 評価委員による評価（10 分間以内）

評価委員は、「廃止」・「休止」・「大幅な縮小」・「小幅な縮小」・「実施方法の変更」・「他の事業に統合」・「継続 現行どおり」・「継続 拡大」の8区分に評価する。

区分と予算の関係では、現行予算の削減率として、廃止・休止は100%削減、大幅な縮小は40%～20%超削減、小幅な縮小は20%以内の削減、事業の方法変更である変更・統合、及び現行についても5%以上削減を目安とする。

6. 実施日程

第1回事業評価

平成23年9月12日（月）13:30～17:00

対象事業 No1～No6 6事業

第2回事業評価

平成23年10月3日（月）13:30～17:30

対象事業 No7～No10 4事業

事業名	大分類	高齢者福祉サービス					
	小分類	生きがい対応型デイサービス事業					
事業開始年度		年度					
事業概要	事業の目的	ひとりぐらし高齢者等に対する生活支援のため、生きがい対策及び保健予防対策のための事業を展開し、健康で生きがいを持った生活が送れるように支援する事を目的とする。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	おおむね65歳以上の一人ぐらし高齢者等で、身体的及び精神的理由により家にとじこもりがちな高齢者が対象。					
	実施内容と事業費内訳	<p>月・水・金の週3回ふれあいサロンあじさいにて、お年寄りが集まり自立した生活を維持・継続させるために各種レクリエーションや行事、週1回の入浴等を行っている。</p> <p>また、散歩や会話などをし、みんなが楽しくふれあいサロンが生きがいになるように職員が工夫を凝らして活動を行っている。</p> <p>社会福祉協議会に委託しており、年間5,790,000円を委託料として支払っている。</p> <p>人件費支出⇒3,875,140円 事務費支出⇒147,907円 事業費支出⇒2,505,603円 計6,528,650 足りない差額は利用者収入より支出している。</p>					
	事業に係る事務量	申請受付、審査、決定、委託料の支払い、実績報告					述べ
事業費及び財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	5,604	5,643	5,732	5,790	5,790	5,790
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	5,604	5,643	5,732	5,790	5,790	5,790	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	<p>御殿場市⇒H22年度決算額：77万円 H23年度予算額：121万円</p> <p>沼津市⇒ H22年度決算額：1639万円 H23年度予算額：1853万円</p> <p>小山町⇒ H22年度決算額：222万円 H23年度予算額：238万円</p> <p>清水町⇒ H22年度決算額：93万円 H23年度予算額：116万円</p> <p>長泉町⇒ H22年度決算額：953万円 H23年度予算額：936万円</p>						

事業名	大分類	高齢者福祉サービス					
	小分類	在宅高齢者等食事サービス事業					
事業開始年度		年度					
事業概要	事業の目的	食生活を改善するとともに高齢者の社会的孤独感を解消することが目的。 また買い物や調理が困難な人に対するの補助という事も目的。 配達に加えて安否確認も行い、利用者の日頃の身の安全を確保する目的もある。 栄養バランスに優れた食事により健康面にも配慮している。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	おおむね65歳以上の高齢者世帯等であり、食事を取ることが難しい人を中心に利用したい方が対象。					
	実施内容と 事業費内訳	週3回までの配食と併せて、安否確認を行っている。 利用料は週3回まで300円の自己負担で利用できる。 安否確認があった場合に申請書の記載欄の緊急連絡先等に連絡していく。 配達日の変更や、欠食の日を業者に連絡し調整している。 安否確認の際に異常があれば市役所に連絡が入り、連絡を受け次第安否確認作業に入り安否が確認出来次第業者に報告する。					
	事業に係る 事務量	申請受付、決定、利用者との連絡、配達業者との連絡、安否確認、 実績報告					
							述べ 1人数
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	6,051	5,721	5,245	5,232	6,552	6,552
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	6,051	5,721	5,245	5,232	6,552	6,552	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	御殿場市⇒H22年度決算額：686万円 H23年度予算額：674万円 沼津市⇒ H22年度決算額：964万円 H23年度予算額：1200万円 小山町⇒ H22年度決算額：34万円 H23年度予算額：65万円 清水町⇒ H22年度決算額：982万円 H23年度予算額：1092万円 長泉町⇒ H22年度決算額：715万円 H23年度予算額：744万円						

事業名	大分類	高齢者福祉サービス					
	小分類	老人日常生活用具給付・貸与事業					
事業開始年度		年度					
事業概要	事業の目的	老人日常生活用具給付・貸与事業⇒日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資することが目的。 紙おむつ等購入費助成事業⇒在宅介護を行う者の経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の福祉の向上に寄与することが目的。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	老人日常生活用具給付・貸与事業⇒おおむね65歳以上であり、一人暮らし高齢者等で低所得の者 紙おむつ等購入費助成事業⇒要介護状態の認定を受けている方					
	実施内容と 事業費内訳	老人日常生活用具給付・貸与事業⇒電磁調理器・火災警報器を給付。高齢者用電話の電話加入権を貸し出す。利用者負担額は、前年度の生計中心者の所得税の課税状況により決定。 老人日常生活用具給付・貸与事業⇒124,415円 紙おむつ等購入費助成事業⇒在宅で使用する、紙おむつ・尿とりパット・防水シート・使い捨て手袋の購入費の一部を助成。助成額は介護度1・2が2,000円、介護度3・4・5は生計中心者の前年度の所得税の課税状況により上限7,500円まで、助成する。 紙おむつ等購入費助成事業⇒8,176,679円					
	事業に係る 事務量	申請受付、審査、助成額決定、業者との連絡、助成額変更、支払い、 実績報告					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	6,214	8,534	7,649	8,302	8,368	8,368
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	6,214	8,534	7,649	8,302	8,368	8,368	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	御殿場市⇒H22年度決算額：889万円 H23年度予算額：876万円 沼津市⇒ H22年度決算額：2131万円 H23年度予算額：2523万円 小山町⇒ H22年度決算額：305万円 H23年度予算額：291万円 清水町⇒ H22年度決算額：800万円 H23年度予算額：848万円 長泉町⇒ H22年度決算額：38万円 H23年度予算額：60万円						

事業名	大分類	敬老会事業					
	小分類	敬老会事業					
事業開始年度		年度					
事業概要	事業の目的	高齢者を敬い、長寿をお祝いして、ふれあい機会を持つとともに、健康増進を推進する。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市内在住の70歳以上の高齢者					
	実施内容と事業費内訳	敬老対象者に、敬老祝品（商品券とヘルシパーク裾野利用券）を配付 77歳（喜寿）、88歳（米寿）、100歳以上の方に記念品を贈呈する。 市民文化センターで敬老会（演芸会）を開催。 ・敬老祝品 24,130千円 ・敬老記念品 3,680千円 ・敬老会演芸委託 3,675千円 ・敬老会婦人会委託 3,770千円 ・敬老会駐車場警備委託 280千円					
	事業に係る事務量	述べ 1人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	31,011	32,268	38,823	33,660	35,535	38,500
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	31,011	32,268	38,823	33,660	35,535	38,500	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	沼津市：（平成22年度決算）44,000千円（平成23年度予算）45,000千円 三島市：（平成22年度決算）66,852千円（平成23年度予算）70,614千円 長泉町：（平成22年度決算）29,960千円（平成23年度予算）32,600千円 御殿場市：（平成22年度決算）54,00千円（平成23年度予算）59,248千円						

事業名	大分類	すそのーる運行委託事業					
	小分類	すそのーる運行委託事業					
事業開始年度		20年度					
事業概要	事業の目的	①裾野駅を起点とした低運賃の路線バスを運行することにより、裾野駅周辺の中心市街地の活性化を図る。 ②公共交通としての路線バスが運行されていない地区にバスを運行することにより、路線バスや鉄道駅等に結び、買い物、通院などへの便を確保する。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	高齢者、児童など、移動手段が公共交通機関の利用に限られることが多い者を中心に、路線バス等の便がない地区の住民を対象とする。					
	実施内容と 事業費内訳	・利用料金は、100円の定額制で、70歳以上及び小学生以下ならびに障害者等は無料。 ・富沢・桃園循環、茶畑・平松循環、富岡・深良循環の3路線を運行。3路線合計で、平日27便、土日17便を運行。 ・運行委託費用には、車両3台のリース費用が含まれる。 上記の算式 $19,564,000円 \times 3台 \times 1.025(金利) \div 8年 \approx 7,520,000$ 約3年分を支払い済み(平成20年10月～)					
	事業に係る 事務量	運行実績分析、事業者との運行協議、県費補助金申請、時刻表作成等。 述べ 0.5人数					
	事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)
	総事業費		17,974	40,771	41,043	40,316	40,316
	国庫補助金		8,211	10,000			
	県補助金					4,300	4,300
	起債						
	その他		851	2,319	2,358	2,458	2,458
	一般財源	0	8,912	28,452	38,685	33,558	33,558
「その他」財源の内訳		利用者の運賃収入					
近隣市町の状況	長泉町：長泉・清水循環バス（長泉なめり駅～下土狩駅～静岡医療センター） 平日7往復、土曜6往復、日曜・祝日5往復 運賃：定額100円 富士市：コミュニティバス、デマンドタクシー、各地域で運行経費の3分の1を負担。運賃200～500円						

事業名	大分類	(財) 裾野市振興公社					
	小分類	ヘルシーパーク裾野管理事業					
事業開始年度		平成 13 年度					
事業概要	事業の目的	・市民の健康増進、福祉の向上及び地域の振興に寄与することを目的とする。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	温泉を利用して心と身体の健康づくりを目的とする幼児から高齢者までを対象とする。					
	実施内容と 事業費内訳	①ヘルシーパーク裾野管理（裾野市振興公社） 平成23年度委託料＝30,388千円 主な支出項目＝人件費、燃料費、光熱水費、施設管理委託料、修繕費等 主な業務内容 ・ヘルシーパークの利用承認及び利用料金の收受 ・市民の健康づくりに関する事業の企画及び実施 ・施設及び付属設備の維持管理、その他市長が必要と認める施設の管理業務 ※平成13年度の開館から裾野市振興公社に管理委託しており、平成19年度から指定管理制度により裾野市振興公社を指定					
	事業に係る 事務量	・委託契約 ・支出事務 ・各月報告書類作成 ・事業調整等 述ベ 2人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	0	20,628	25,490	32,161	30,388	30,388
	国庫補助金						
	県補助金						
	起 債						
	その他						
一般財源	0	20,628	25,490	32,161	30,388	30,388	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	指定管理以前の管理委託料						
	平成13年度	117,477千円			平成17年度	109,611千円	
	平成14年度	126,610千円			平成18年度	110,015千円	
	平成15年度	114,856千円					
	平成16年度	102,603千円					

事業名	大分類	(財) 裾野市振興公社事業					
	小分類	文化センター事業					
事業開始年度		3年度					
事業概要	事業の目的	市民が普段ふれることの少ない文化や芸術について触れ合う機会を提供する。 市民の文化活動の発表の場の提供					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	全市民を対象					
	実施内容と 事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振興公社に対する管理運営委託 (H22~24) 指定管理委託料 (平成23年度) 110,619,000円 ・ 土地賃借料 18,391,515円 ・ 指定管理者による年間8本の自主事業 ・ 各種イベントへの施設提供 ・ 大ホール、多目的ホール、会議室、展示室ほかの貸出 					
	事業に係る 事務量	指定管理委託事務、土地賃借料協議、大規模修繕工事手続き等 述べ 1人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	159,147	142,381	219,342	217,160	135,378	135,378
	国庫補助金						
	県補助金						
	起 價						
	その他	720	720	720	720	720	720
一般財源	158,427	141,661	218,622	216,440	134,658	134,658	
「その他」財源の内訳		レストラン利願貸付代 60,000円×12ヶ月					
近隣市町の状況	(指定管理) 沼津市、三島市、御殿場市、富士市、富士宮市、下田市、伊東市 (市町直営) 小山町、長泉町、伊豆の国市						

事業名	大分類	裾野赤十字病院補助事業					
	小分類	裾野赤十字病院救急医療対策補助事業					
事業開始年度		平成 元 年度					
事業概要	事業の目的	裾野赤十字病院における第1次及び第2次救急医療の迅速な対応を充実させることを目的とする。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	裾野赤十字病院が地域の住民のために行う救急医療行為を対象とする。					
	実施内容と 事業費内訳	裾野赤十字病院の救急医療に係る ①医師、看護師、事務員、技師等の救急医療スタッフ人件費 ②診察用の薬品等の原材料費 ③光熱水費等の経費 等への補助金で、補助基準は経費の2/3以内で、60,000千円を超えない額で交付する。					
	事業に係る 事務量	補助金交付事務、赤十字病院との調整					
		述べ					2人数
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	107,118	106,383	105,860	105,662	105,525	105,525
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	47,118	46,383	45,860	51,662	51,525	51,525
一般財源	60,000	60,000	60,000	54,000	54,000	54,000	
「その他」財源の内訳		裾野赤十字病院負担金					
近隣市町の状況	伊豆市 運営費補助金（医師不足対策、救急医療、医療機器等）を伊豆赤十字病院へ交付。 平成21年度：65,000千円 平成22年度：70,000千円						

事業名	大分類	裾野赤十字病院補助事業					
	小分類	裾野赤十字病院医療機器整備費補助事業					
事業開始年度		平成 2 年度					
事業概要	事業の目的	裾野赤十字病院における医療等の向上及び充実に係る機器の整備を目的とする。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	裾野赤十字病院で毎年計画的に購入する医療機器を対象とする。					
	実施内容と 事業費内訳	<p>毎年度、裾野赤十字病院が計画的に整備する医療機器購入の補助をするもので補助基準は事業費の2/3以内で、15,000千円を超えない額で補助する。</p> <p>平成22年度 外科用X線テレビシステム、大腸ビデオスコープ、回診用X線装置等10点</p> <p>平成23年度 全自動血液凝固測定装置等購入予定で現在調整中</p>					
	事業に係る 事務量	補助金交付事務、赤十字病院との調整、購入機器の検査					
		述べ					2 人数
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	23,130	23,297	23,161	21,121	20,250	20,250
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	8,130	8,297	8,161	7,621	6,750	6,750
一般財源	15,000	15,000	15,000	13,500	13,500	13,500	
「その他」財源の内訳		裾野赤十字病院負担金					
近隣市町の状況	<p>伊豆市</p> <p>伊豆赤十字病院へ運営費補助金として交付している中に医療機器整備費が含まれている。</p> <p>平成22年度：70,000千円（医師不足対策、救急医療、医療機器等への補助）</p> <p>その他に中伊豆温泉病院へ医療機器整備補助金として、事業費の1/2以内で20,000千円を超えない額で交付している。平成22年度実績：20,000千円</p>						

事業名	大分類	裾野赤十字病院補助事業					
	小分類	裾野赤十字病院施設整備費補助事業					
事業開始年度		平成 10 年度					
事業概要	事業の目的	健康文化都市を目指し、市民の健康を守り、市民医療の充実強化を図ることを目的とする。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	平成9年度に完了した裾野赤十字病院増改築工事（病棟増築、外来棟・手術棟等の改築、耐震補強工事、高度医療機器整備等）に係る1,400,000千円の借入金対象。					
	実施内容と 事業費内訳	<p>平成9年度に完了した裾野赤十字病院増改築工事に対する補助で市が債務負担を負っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 銀行借入金（市補助分） 1,400,000千円 国、県補助金 534,498千円 その他 231,626千円 <p>・総事業費 2,166,124千円</p> <p>銀行からの借入額は1,400,000千円、償還期間は20年で毎年70,000千円＋利息分を補助している。金融機関への償還は平成30年1月31日で終了となる。</p> <p>平成24年度以降償還予定額 元金420,000千円＋利息85,486千円＝505,486千円（利息はプライムレートにより変動）</p>					
	事業に係る 事務量	補助金交付事務、赤十字病院との調整					
		述べ					2人数
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	81,984	80,529	80,033	74,892	79,400	79,000
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	81,984	80,529	80,033	74,892	79,400	79,000	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	補助金額の推移						
	平成10年度	91,112千円		平成15年度		79,193千円	
	平成11年度	89,046千円		平成16年度		79,122千円	
	平成12年度	87,975千円		平成17年度		77,074千円	
	平成13年度	85,743千円		平成18年度		78,987千円	
	平成14年度	82,047千円					

事業名	大分類	TMO運営補助事業						
	小分類	TMO運営補助事業						
事業開始年度		16年度						
事業概要	事業の目的	株式会社ガーデンシティすそのは商業を中心にした中心市街地のにぎあい拠点の整備のため設立されたまちづくり会社です。現在、裾野ブランドの開発・販売や商店街のPR活動、イベントの企画立案及び駅前駐車場の管理運営を行っております。そのような中、自社収益にて賄えるまでの間の運営費等について一部を補助する。						
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	株式会社ガーデンシティすそのタウンマネージャー及び事務員の賃金に要する経費の一部を補助する。						
	実施内容と事業費内訳	(平成23年度 人件費内訳) ・タウンマネージャー給与 月額300,000円×12月=3,600,000円 ・事務員給与 月額76,000円×12月×2名=1,824,000円 ・厚生年金 24,087円×12月=289,044円 ・健康保険 16,410円×12月=196,920円 ・雇用保険 3,798円×12月=45,576円 ・労災保険 1,085円×12月=13,020円 ・児童拠出年金 390円×12月=4,680円 ・ベネフィー駿東会費 500円×12月=6,000円 総計 5,979,240円						
	事業に係る事務量	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"></td> <td style="width:50%; text-align: center;">述べ 人数</td> </tr> </table>						
	述べ 人数							
事業費及び財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)	
	総事業費	5,424	5,424	5,424	4,882	4,638		
	国庫補助金							
	県補助金							
	起債							
	その他							
一般財源	5,424	5,424	5,424	4,882	4,638	0		
「その他」財源の内訳								
近隣市町の状況	【沼津まちづくり株式会社】・・・平成15年設立。沼津市が50%以上を出資。起業当時は膨大な赤字だったか、外部役員を招く、経営コンサルの指導を仰ぐ等の対策により、徐々に改善しつつある。 行政は補填・補助は行っていない。 【みしま街づくり株式会社】・・・平成8年設立。三島市が50%出資。行政は補填・補助は行っておらず、商工会議所が負担している。							

事業名	大分類	TMO運営補助事業					
	小分類	中心市街地活性化事業					
事業開始年度		20年度					
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・裾野市循環バスすその一の広報活動、利用促進諸事業を実施し、乗客数増加や中心市街地活性化等に繋げる。 ・中心市街地活性化協議会の開催のための調整、資料・議事録等の作成、講演会等を行い、中心市街地の活性化に寄与する。 ※「裾野市中心市街地活性化協議会」は平成22年2月発足					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	株式会社ガーデンシティすそのに対し上記業務を委託している。					
	実施内容と 事業費内訳	(平成23年度 内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・すその一利用促進等業務委託 950,000円 ・中心市街地活性化協議会運營業務委託 247,000円 					
	事業に係る 事務量	パンフレット作成、利用促進イベントの実施、活性化協議会資料作成、講演会の実施。 述べ 0.5 人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	0	2,000	2,000	1,330	1,197	
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	0	2,000	2,000	1,330	1,197	0	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	(中心市街地活性化協議会事務局) 【沼津市】・・・商工会議所 【三島市】・・・商工会議所						

事業名	大分類	非常勤講師派遣事業					
	小分類	非常勤講師派遣事業					
事業開始年度		12年度					
事業概要	事業の目的	特別支援教育の充実、確かな学力の定着、児童生徒の安全で安定した学校生活の確保などの学校教育の課題に適切に対応し、第4次裾野市総合計画基本構想に示す、「子どもたちがこころざしを持ち、健やかに、生き生きと成長する地域づくり」の実現を目指す。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	裾野市立小・中学校に在籍する児童・生徒					
	実施内容と 事業費内訳	<p>教員免許状を有する講師を小・中学校に配置して、学校運営を支援する。事業の規模と内容は次のとおり</p> <p>(1)規模</p> <p>①低学年多人数学級講師 小学校12年の34人以上学級ごとに配置 H23は12人 1日6時間 年225万円</p> <p>②小学校講師 学校規模と実情に応じて1~5人程度配置 H23は20人 1日6時間 年225万円</p> <p>③中学校講師 学校規模と実情に応じて1~4人程度配置 H23は15人 1日7時間 年264万円</p> <p>④特別支援教育巡回相談員 H23は2人 小・中学校14校を分担 1日7時間 年264万円</p> <p>⑤心の教室相談員 全中学校各1人配置 H23は5人 1日4時間・時1200円 年50万円</p> <p>⑥外国人児童・生徒相談員 H23は1人 1日3時間・時1600円・年72万円</p> <p>⑦適応指導教室相談員・指導員 相談員1人 1日4時間・時1200円・年50万円 指導員2人 1日6時間 年225万円</p> <p>(2)主な業務 合計 58人</p> <p>①~③学習指導・生活指導・学級経営学年経営事務・特別支援教育・図書館経営等を担う</p> <p>④特別支援教育に関わる児童生徒・保護者・教員からの相談・指導助言、観察・診断、就学指導委員会での助言・情報提供、関係機関への接続</p> <p>⑤生徒の学校生活・家庭生活など多種多様な悩み事相談 関係機関への接続</p> <p>⑥外国人児童生徒・保護者の学校生活の悩み相談、保護者への連絡、学習支援</p> <p>⑦不登校児童生徒の悩み相談、学習指導、保護者対応、復校支援</p>					
	事業に係る 事務量	講師登録面接 講師配置・任用事務 勤務状況把握参観・面接 講師指導力向上研修会参観・指導 述べ 0.6人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	148,929	144,248	147,558	124,475	127,093	127,093
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	148,929	144,248	147,558	124,475	127,093	127,093	
「その他」財源の内訳		なし					
近隣市町の状況	<p>H22年度の状況</p> <p>(清水町)24人 1校平均4.8人 (長泉町)56人 1校平均11.2人</p> <p>(御殿場市)47人 1校平均2.9人 (小山町)16人 1校平均2.0人</p> <p>(裾野市)58人 1校平均4.1人</p>						

事業名	大分類	小中学校給食					
	小分類	小学校給食管理事業					
事業開始年度		昭和 年度					
事業概要	事業の目的	①自校式（単独調理場）による完全給食の実施により児童の適切な栄養の摂取による健康の保持増進や望ましい食習慣の形成を図る。 ②衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底による安心・安全な給食の提供 ②子育て支援事業として給食費の保護者負担の軽減を図るため給食費を助成					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	自校式（単独調理場）7校〔東・西・富一・深良・須山・向田・千福が丘小学校〕の学校給食。給食費の助成は各小学校に通学する児童及び市内に居住し特別支援学校に通学する児童生徒。					
	実施内容と 事業費内訳	・年間180回の完全給食の実施。 ・平成18年4月から給食費保護者負担金月額3,800円のうち、1,000円を助成しており、また、平成21年度の給食費値上げに伴い保護者負担金4,100円のうち1,200円を助成し現在に至っている。総額は22年度実績で36,233,925円。助成の方法は、保護者に給食費から市が負担する額を差し引いた額を納入してもらう。助成の内容は賄材料費。 ・衛生管理を徹底するため栄養士研修・調理員研修、食品検査の実施。 ・平成22年度決算 事業費225,706千円 うち賄材料費133,727千円 人件費71,107千円 光熱費6,495千円 工事費4,068千円 給食消耗品費3,910千円 等					
	事業に係る 事務量	栄養士による給食献立の作成、食材の発注・検収。調理員による調理及び洗浄作業。各学校ごとに給食費の徴収。市栄養士1名・市臨時栄養士3名 県栄養士3名・市臨時給食員27名					
		述べ 34人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	236,062	236,917	234,733	225,706	229,757	229,757
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	97,454	96,764	100,040	97,706	102,413	102,413
一般財源	138,608	140,153	134,693	128,000	127,344	127,344	
「その他」財源の内訳		学校給食納付金					
近隣市町の状況	給食費の助成は御殿場市・三島市・沼津市・富士市・富士宮市等は実施していない。東部地区で実施しているのは東伊豆町1人500円、河津町1,000円。長泉町では地場産品利用補助金として、一般会計から1,200万円歳出し、1ヶ月1人小学生約200円、中学生250円の助成を行っている。自校方式（単独調理場）での民間委託は、沼津市・三島市・富士市・御殿場市等近隣市町では実施していない。						

事業名	大分類	小中学校給食					
	小分類	中学校給食管理事業					
事業開始年度		平成6年度					
事業概要	事業の目的	①共同調理場方式による完全給食の実施により児童・生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進や望ましい食習慣の形成を図る。 ②衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底による安心安全な給食の提供 ②子育て支援事業として給食費の保護者負担の軽減を図るため給食費を助成					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	共同調理場方式による東・西・深良・富岡・須山中学校5校と、富二・南小学校2校の学校給食。給食費の助成は各小・中学校に通学する児童及び市内に居住し特別支援学校に通学する児童生徒。					
	実施内容と事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・年間180回の完全給食の実施。 ・平成18年4月から給食費保護者負担金月額4,400円のうち、1,000円を助成しており、また平成21年度の給食費値上げに伴い保護者負担金4,800円のうち1,200円を助成し現在に至っている。総額は22年度実績で23,775,878円。助成の方法は、保護者に給食費から市が負担する額を差し引いた額を納入してもらう。助成の内容は賄材料費。 ・衛生管理を徹底するため栄養士研修・調理員研修、食品検査の実施。 ・平成22年度決算 事業費247,602千円 うち賄材料費101,884千円 人件費82,921千円 委託料23,961千円 光熱水費11,388千円 等 					
	事業に係る事務量	栄養士による給食献立の作成、食材の発注・検収。調理員による調理及び洗浄作業、支払事務、契約事務、栄養指導。管理事務職1名・市栄養士2名・県栄養士1名・市正規給食員2名・市臨時給食員17名・市臨時事務員2名。					
		述べ 25人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	265,657	261,984	258,836	247,602	243,701	243,701
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他	72,942	73,565	79,680	78,164	82,875	82,875
一般財源	192,715	188,419	179,156	169,438	160,826	160,826	
「その他」財源の内訳		学校給食納付金					
近隣市町の状況		共同調理場の調理の民営化については御殿場市・富士市・富士宮は実施していない。沼津市で一部実施している。他市では裾野市に比べ給食員に占める正規職員割合が高く、民営化することで人件費の抑制に繋がっているが、雇用の問題もあり新センターの建設に合わせて実施しているケースが多い。近隣市町の給食助成金は、小学校給食事業と同様の状況。裾野市は小学校・中学校の合計で年間約6,000万円の給食費助成。					

事業名	大分類	社会福祉協議会補助金及び委託事業					
	小分類	社会福祉協議会補助金事業					
事業開始年度		7年度					
事業概要	事業の目的	地域福祉の担い手である社会福祉協議会の年間事業活動（計画）に対する補助を行う。4人の人件費や車両の維持管理費相当額、ふれあい健康まつりの開催への補助及び社会福祉協議会の事業のうち、年間4回発行の社協だより、市主催の福祉大会の開催、県福祉大会に表彰者も含めた関係者の引率、一人暮らし高齢者対象のふれあい給食サービス事業に2分の1の助成を柱としている。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	裾野市社会福祉協議会					
	実施内容と 事業費内訳	<p>社会福祉協議会の事業の他に、介護保険事業ではホームヘルプセンター及び指定管理指定をしている市の施設である3つの通所介護施設（いきいきホーム、いずみ荘、すやまホーム）、居宅介護支援センターの運営を実施している。また、社会福祉協議会の独自事業として、福祉有償運送サービス事業や訪問介助員養成研修を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費補助金 20,059,400円 ・すその「社協だより」発行 499,500円 ・市・県福祉大会運営事業 421,200円 ・ふれあい給食事業 324,000円 ・職員健康診断事業 56,700円 ・ごみ処理負担金 75,600円 ・ふれあい健康まつり事業 735,300円 ・地域福祉・在宅福祉活動事業費 1,020,600円 					
	事業に係る 事務量	①補助金申請の受付 ②補助金交付決定の通知 ③補助金の支払い ④実績報告書・決算書の確認					
			述べ 1人数				
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	23,902	25,769	25,769	23,193	22,032	20,930
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
	一般財源	23,902	25,769	25,769	23,193	22,032	20,930
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	沼津市：(平成22年度決算) 44,258,000円 (平成23年度予算額) 41,396,000円 御殿場市：(平成22年度決算) 41,000,000円 (平成23年度予算額) 34,500,000円 小山町：(平成22年度決算) 30,452,371円 (平成23年度予算額) 28,000,000円 清水町：(平成22年度決算) 23,681,000円 (平成23年度予算額) 27,000,000円 長泉町：(平成22年度決算) 5,100,000円 (平成23年度予算額) 5,100,000円						

事業名	大分類	社会福祉協議会補助金及び委託事業					
	小分類	ボランティア推進事業					
事業開始年度		S59 年度					
事業概要	事業の目的	ボランティアに対する市民の関心を高め、その活動をサポートする。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	一般市民 並びに ボランティア指導者賠償保険団体					
	実施内容と 事業費内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア指導者賠償保険への加入取りまとめ (38千円) ボランティア団体関係各課への周知・受付 保険会社との打ち合わせ・手続き実施 問い合わせへの対応 ・ボランティア研修会、NPO活動センター等会議への出席 (350千円) 					
	事業に係る 事務量	上記の事務全般					
		述べ 0.1人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	109	251	425	241	388	388
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	109	251	425	241	388	388	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況							

事業名	大分類	社会福祉協議会補助金及び委託事業					
	小分類	ボランティアセンター運営事業					
事業開始年度		H7 年度					
事業概要	事業の目的	地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、組織的なボランティア活動の育成助成等を行い、関係機関との連絡調整等の便宜を供与し、もって社会福祉及びまちづくりの推進に資する。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	一般市民 及び ボランティア					
	実施内容と 事業費内訳	・ボランティアセンター事業を社会福祉協議会に委託（4,185千円） 委託契約に関する事務 ボランティアセンターとの打合せ ボランティア交流研修への随行 ※ボランティアセンターへの委託業務内容 情報誌「ぼらんていあ」の発行（年1回、不定期、全戸配布） ボランティア相談（活動の紹介、情報提供等） ボランティア講習会（点字講習） ボランティア個人・団体の登録 ボランティア保険の斡旋 会議室・教材・機材の貸し出し					
	事業に係る 事務量	上記の事務全般					
		述べ 0.1 人数					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	5,000	5,000	5,000	4,650	4,185	4,185
	国庫補助金						
	県補助金						
	起債						
	その他						
一般財源	5,000	5,000	5,000	4,650	4,185	4,185	
「その他」財源の内訳							
近隣市町の状況	日本のボランティアセンターの成り立ちは、市区町村単位で社会福祉協議会と連携して設置されることが多く、近隣市町でも社協へ委託している。						

事業名	大分類	シルバー人材センター運営費補助金					
	小分類	シルバー人材センター運営費補助金					
事業開始年度		9年度					
事業概要	事業の目的	高齢者の労働能力の活用と生きがいを促進するため、社団法人シルバー人材センターに事業運営費の一部を補助金として交付し事業を推進する。シルバー人材センターは、軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために、地域社会と連携し、高齢者のもつ知識、経験を活かした就業機会の確保及び提供、また生活感の充実をはかることを目的としている。					
	事業の対象 (誰を・何を・どこを)	市シルバー人材センター登録会員、作業委託する市民					
	実施内容と 事業費内訳	受託事業の実施、入会者の加入促進、受託事業の開拓、適正就業の推進、ボランティア活動 ・人件費 28,116,787円 (14,123,000円) 5人分 ・一般運営費 4,532,449円 (1,893,000円) ※ () 内、補助金額					
	事業に係る 事務量	①補助金申請の受付 ②補助金交付決定の通知 ③補助金の支払い(年4回) ④県補助金交付申請の提出 ⑤県補助金の概算申請 ⑥次年度の県補助金調査の回答 ⑦県補助金の実績報告書提出					
事業費 及び 財源内訳 (単位:千円)		平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算額)	平成21年度 (決算額)	平成22年度 (決算額)	平成23年度 (予算額)	平成24年度 (見込額)
	総事業費	17,769	17,769	17,769	16,016	14,732	14,000
	国庫補助金						
	県補助金	1,300	1,300	1,300	790	790	390
	起債						
	その他						
一般財源	16,469	16,469	16,469	15,226	13,942	13,610	
「その他」財源の内訳		県シルバー人材センター運営費特別支援費補助金					
近隣市町の状況	沼津市：(平成22年度決算) 10,765,000円 (平成23年度予算額) 10,765,000円 御殿場市：(平成22年度決算) 11,338,000円 (平成23年度予算額) 10,938,000円 小山町：(平成22年度決算) 9,500,000円 (平成23年度予算額) 8,840,000円 清水町：(平成22年度決算) 8,100,000円 (平成23年度予算額) 8,100,000円 長泉町：(平成22年度決算) 14,000,000円 (平成23年度予算額) 13,500,000円						

事業評価スケジュール

9月12日

		A班		
総括		委員		説明者
		内容	会場	
13:30	開会	委員長挨拶・説明	402	403へ待機
13:40	事業説明	高齢者福祉サービス ①生きがい対応型サービス事業 ②在宅高齢者等食事サービス事業 ③老人日常生活用具給付・貸与事業	402	社会福祉課 15分以内
13:50	質疑応答	質疑		応答
14:10	結果まとめ	まとめ		403へ待機

休憩

		B班		
総括		委員		説明者
		内容	会場	
13:30	開会	委員長挨拶・説明	402	301で待機
13:40	事業説明	財)裾野市振興公社 ①ヘルシーパーク裾野管理事業 ②文化センター事業	301	健康推進課 7～8分以内 生涯学習課 7～8分以内
13:50	質疑応答	質疑		応答
14:10	結果まとめ	まとめ		全園の応接机で待機

休憩

14:40	事業説明	敬老会事業	402	社会福祉課 15分以内
14:50	質疑応答	質疑		応答
15:10	結果まとめ	まとめ		403へ待機

休憩

14:40	事業説明	裾野赤十字病院補助事業 ①救急医療への補助 ②医療機器整備への補助 ③施設整備への補助	301	健康推進課 15分以内
14:50	質疑応答	質疑		応答
15:10	結果まとめ	まとめ		全園の応接机で待機

休憩

15:40	事業説明	すそのーる運行委託事業	402	企画政策課 15分以内
15:50	質疑応答	質疑		応答
16:10	結果まとめ	まとめ		403へ待機

休憩

15:40	事業説明	TMO運営補助事業 ①TMO運営補助事 ②中心市街地活性化事業	301	商工観光課 15分以内
15:50	質疑応答	質疑		応答
16:10	結果まとめ	まとめ		全園の応接机で待機

休憩

16:40	閉会	まとめと次回への反省等	402	お疲れ様でした
16:50				
17:00				

16:40	閉会	まとめと次回への反省等	402	お疲れ様でした
16:50				
17:00				

10月3日

		A班		
総括	委員		説明者	備考
	内容	会場		
13:30	開会	委員長挨拶・説明	402	403へ待機
13:40	事業説明	非常勤講師派遣事業	402	学校教育課 15分以内
13:55	質疑応答	質疑		応答
14:10	結果まとめ	まとめ		403へ待機

休憩

		B班		
総括	委員		説明者	備考
	内容	会場		
13:30	開会	委員長挨拶・説明	402	301で待機
13:40	事業説明	社会福祉協議会補助金及び委託事業 ①社会福祉協議会補助金事業 ②ボランティア推進事業 ③ボランティアセンター運営事業	301	社会福祉課 5分以内 地域振興課 10分以内
13:55	質疑応答	質疑		応答
14:10	結果まとめ	まとめ		会場の花壇前で待機

休憩

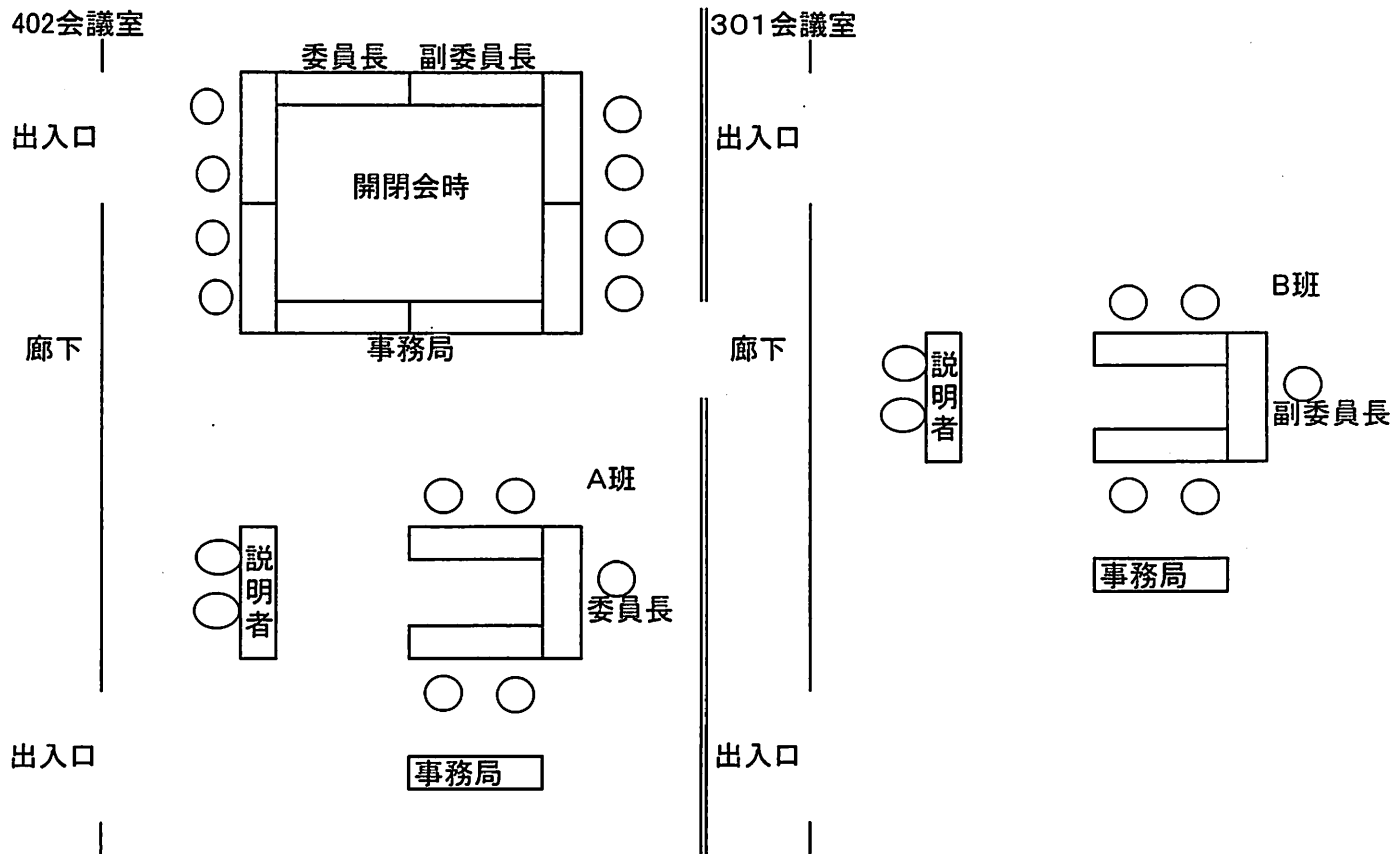
14:40	事業説明	小中学校給食 ①小学校給食管理事業 ②中学校給食管理事業	402	教育総務課 15分以内
14:55	質疑応答	質疑		応答
15:10	結果まとめ	まとめ		403へ待機

休憩

14:40	事業説明	シルバー人材センター 運営費補助事業	301	社会福祉課 15分以内
14:55	質疑応答	質疑		応答
15:10	結果まとめ	まとめ		会場の花壇前で待機

15:40	A-1	個別協議	402	高齢者福祉サービス
15:50	A-2			敬老会事業
16:00	A-3			すそのーる運行事業
16:10	B-1			財)裾野市振興公社事業
16:20	B-2			裾野赤十字病院補助事業
16:30	B-3			TMO運営補助事業
16:40	A-4			非常勤講師派遣事業
16:50	A-5			小中学校給食
17:00	B-4			社会福祉協議会補助金及び委託事業
17:10	B-5			シルバー人材センター運営補助事業
17:20	閉会			
17:30				

事業評価 配置



事業評価グループ分け

A	B
キクタ ユウイチロウ 菊田 祐一郎	カツマタ リオ 勝又 規雄
ネモト トシヨ 根本 年代	ウエマツ カズナリ 植松 一成
ワタナベ コウイチ 渡邊 康一	ニシヤマ ショウイチ 西山 捷一
シオカワ トモカ 塩川 友孝	カツマタ ミヨコ 勝又 美代子
ヤマグチ コウジロウ 山口 郊治郎	ワタナベ ユウジ 渡邊 雄二

日程別 グループ別 事業評価番号

	A	B
9月12日	6	1
	4	2
	9	10
10月3日	7	3
	8	5

402

301

事業評価チェック表（評価委員用）

下表は、ご自身のメモ等として、ご自由にご利用ください。

(□の中にレ点を記入してください)							
1. 事業の必要性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	大変必要性がある	必要性がある	どちらかと言えば必要である	どちらかと言えば必要ない	必要ない		
2. 事業の公平性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	大変公平である	公平である	どちらかと言えば公平である	どちらかと言えば公平でない	公平でない		
3. 事業の効果	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	大変効果がある	効果がある	どちらかと言えば効果がある	どちらかと言えば効果がない	効果がない		
4. 改善の余地	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	改善の余地(大)	改善の余地(小)	実施方法の変更	他の事業に統合	改善の必要がない		
総合評価	見直し						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
廃止	休止	大幅な縮小	小幅な縮小	実施方法の変更	他の事業に統合	継続 現行どおり	継続 拡大
		併せて 方法変更・事業統合					

事業No	事業名		検討項目(課題・見直し視点)	所管部署	事業概要	事業費	財源内訳					
	大分類	小分類					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
1	92	高齢者福祉サービス	生きがい対応型デイサービス事業	介護予防と交流の面から、実施回数や利用者負担の要否を検討	社会福祉課	独居老人高齢者に週3回レク等の各種サービスを提供	5,790					5,790
		在宅高齢者等食事サービス事業	独居高齢者の安否確認は、ヤクルトの訪問事業と併せて実施されており、食事サービスの回数と利用者負担について、婦人会事業のふれあい給食への参加も含めて検討。			6,552				6,552		
		老人日常生活用具給付・貸与事業	具体的な品目や利用方法について、介護保険制度の給付との重複等を精査。			8,368				8,368		
2	84	敬老会事業	他の給付と併せて敬老祝品の要否・適否、演芸、事業実施方法などの検討	社会福祉課	本事業に伴う式典、祝品等の軽費	35,535					35,535	
3	408	すその一る運行委託事業	公共交通として路線バスの維持を図る反面で、運行事業費に対し運賃収入が少ない。他の路線バスと均衡のとれた適正な利用者負担のあり方を検討。	企画政策課	中心市街地の活性化と住民の利便性向上のため裾野駅を起点とした循環バス3路線を運行	40,316		4,300		2,458	33,558	
4	1 256	(財)裾野市振興公社事業	ヘルシーパーク裾野管理事業	指定管理者の選定、指定管理以前との人件費・事業費等の比較、市関連の助成措置、利用料減免の基準、実施事業の収益性などの検討	健康推進課	ヘルシーパーク管理全般	30,388					30,388
			文化センター事業		生涯学習課	市民を対象に市民文化及び芸術作品の発表の場の提供	135,378			720	134,658	
5	45 46 47	裾野赤十字病院補助事業	裾野赤十字病院救急医療対策補助事業	赤十字病院への複数の補助があり、機器導入の経過、費用の適正化の観点から総合的に必要性・適否を検討	健康推進課	裾野赤十字病院救急医療への補助	105,525				51,525	54,000
			裾野赤十字病院医療機器整備費補助事業			裾野赤十字病院医療機器整備への補助	20,250			6,750	13,500	
			裾野赤十字病院施設整備費補助事業			裾野赤十字病院施設整備への補助	79,400				79,400	
6	472 473	TMO運営補助事業	TMO運営補助事業	集中改革プランにおいて、第3セクターの見直しが挙げられ、設立以来の業績と将来的な収益性を見込みから、補助の必要性を検討するとともに、中心市街地活性化関連事業と併せて検討。	商工観光課	会社の利益で賄う事ができるまでの間、タウンマネージャー及び事務員の賃金を補助する	4,638					4,638
			中心市街地活性化事業			裾野駅を起点とした循環バスを利用し、商店街で買い物しやすい環境整備を図る・協議会の運営	1,197				1,197	
7	179	非常勤講師派遣事業	他市町との比較により、市講師の配置状況の多寡を測り、要否について検討。事業妥当性を測るため、同事業についての県教委の見解も大きな資料。	学校教育課	学校教育支援講師の賃金、ふれあい教室職員賃金、外国人児童生徒相談業務	127,093					127,093	
8	193 194	小中学校給食	小学校給食管理事業	給食事業の方式変更による効率化、給食費の助成の要否、対象者の制限等について検討。	教育総務課	小学校給食の管理運営	229,757				102,413	127,344
			中学校給食管理事業			学校給食センターの管理運営	243,701			82,875	160,826	
9	53 284 285	社会福祉協議会補助金及委託事業	社会福祉協議会補助金事業	人件費、非収益性事業委託、社協会費の状況、施設整備状況、市職員派遣、社会福祉法人に対する指導権限が市に委譲される見込みを含めて適否を検討	社会福祉課	年間事業活動(計画)に対する補助	22,032					22,032
			地域振興課			ボランティア活動をサポートする施策の研究やボランティア講座の開催など	388			388		
					ボランティアセンター運営事業	委託事業を含めて、ボランティアのコーディネート機能などが十分に果たされているか、事業の効果や手法を検討	4,185				4,185	
10	89	シルバー人材センター運営費補助事業	シルバー人材センターは市から優先的に委託を受けることが可能であり、5%の事務費を得ている。受注の5%と事務的な経費、人件費などを精査して補助の適否を検討。	社会福祉課	本センターに事業運営費の一部を補助	14,732		790			13,942	
合計						1,115,225	0	5,090	0	246,741	863,394	